

## 寅さん歩 その 18

### 東京の学食めぐり-25



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者の要望で始めた「東京都にある大学の学食めぐり」です。最近是一般の人も食べられる学食が増えています。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。今回のシリーズでは**女子大の学食めぐりは無理だとあきらめていました**。でも大学にはオープンキャンパスという制度があり、入学を希望・検討している受験生やその関係者のために大学の紹介や施設を公開し、学校への関心を高めてもらう入学促進キャンペーン（土・日に実施）が行われています。寅次郎、将来の関係者として、参加しました。少子化の時代、新聞広告や大学ホームページでオープンキャンパスの予定は広報しています。学食のメニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないよう注意です。最寄り駅は代表例です。

**【東京女子大学】** 杉並区善福寺 2-6-1

最寄駅 JR中央線 西荻窪駅よりバス利用

西荻窪駅北口（1番）からバスに乗ります。徒歩でも約12分。寅次郎、ウォーキングのコースで正門前や周囲を歩いたことはありますが、構内に入るのは初めてです。門は開いていますが、やはり女子大への入場は少しドキドキ・ワクワクですね。学校公式サイトには『北米プロテスタント教派の援助を得て大正7年（1918年）「キリスト教の精神に基づいて女子に高等教育を施すことを目的とする」との建学の精神のもとリベラル・アーツカレッジ「私立東京女子大学」として創立されました。初代学長は新渡戸稲造です。大正13年（1924年）新宿から現在地に移転。昭和23年（1948年）新制大学として発足。今年（2018年）4月30日で創立100周年です。学部は現代教養学部（5学科、12専攻）の

みです。キャンパスの歴史的建造物群は建築家アントニン・レーモンド（1888年～1976年）の設計によるもので、日本におけるモダンムーブメントの建築物として全7棟が国の登録有形文化財に登録されています。関東大震災にも耐え、現在も使用中です』と記載



正門



本館（1931年建築）



チャペル・講堂（1938年建築）



7号館教室棟（1924年建築）



14号館（1925年建築）



16号館（1924年建築）

14号館は安井記念館（第2代学長）／キリスト教センター  
16号館は外国人教師館／女性研究所



写真左は 17号館  
ライシャワー館  
(1927年建築)

A. K. ライシャワーは  
宣教師として日本に派遣  
され、東京女子大の創立に  
常務理事として係わりま  
した。

60年安保後、駐日大使を

務めたE. O. ライシャワー博士の父で大使も幼少期をここで過  
しました。

写真を撮り忘れた登録文化財残りの1棟は講堂近くの6号館（教育棟  
1927年建築）です。

本館の2Fは新渡戸稲造記念館になっています。

学食は構内奥の11号館（写真下左）2Fにあります。1Fは購買セ  
ンター、屋上はテニスコートとのこと。2号館3Fにも学食はありま  
すが、本日は休業。



定食C オムライスと  
コロッケ 390円の食券  
を購入。美味しいコロ  
ッケでした。

オープンキャンパスの  
日曜日なのでメニュー  
は少ないですが、値段は  
いつもと同じとのこと。

## 〔聖心女子大学〕 渋谷区広尾 4-3-1

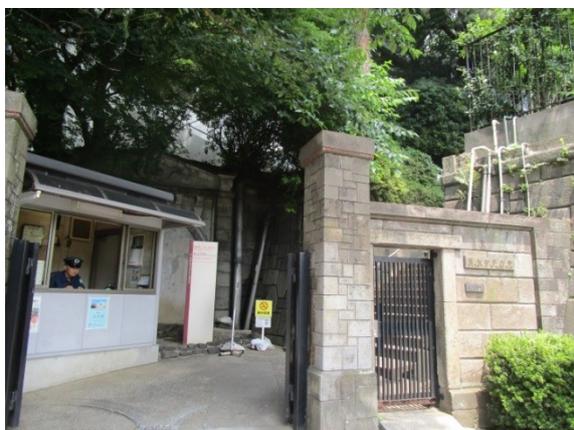
最寄駅 日比谷線 広尾駅

ご存知、皇后陛下の母校です。キャンパス敷地はもと久邇宮邸で香淳皇后（昭和天皇皇后）が幼少を過ごした所で、ご成婚の折にはこの地から宮中へ向かわれたとのこと。

大学公式サイトには『寛政 12 年（1800 年）フランスで誕生した女子修道会「聖心会」を母体とし、明治 41 年（1908 年）私立聖心女学院が認可、大正 5 年（1916 年）前身となる私立聖心女子学院高等専門学校を開校、昭和 23 年（1948 年）新学制により聖心女子大学が発足しました。日本で最初の女子大学の一つです。初代学長はエリザベス・ブリットが就任。現在の学部は文学部のみで、平成 31 年（2019 年）入学者より現代教養学部に変更します。教育理念は「一人ひとりが神の愛を受けた、かけがえのない存在であることを知り、世界の一員としての連帯感と使命感を持ってより良い社会を築くことに貢献する賢明な女性の育成を目指す」と記載。

オープンキャンパスの予定はありますが、午後 1 時からで、これでは学食には入れないと思いましたが、「寅さん歩」の愛読者兼アドバイザーの Y さんから、「新しく、一般の人が食べられるカフェが出来た」との情報を思いだして訪問しました。

写真下左は広尾駅から聖心女子大学へ向かう南門、下写真右は西麻布の日赤医療センター隣にある正門です。



写真右は正門から奥の構内、ここまでの撮影を許可していただきました。この道を行くと南門に抜けられます。桜の時期は見事です。



大学構外(東門の外)にある大学4号館 聖心グローバルプラザ  
 (写真下左)の1Fに一般の人も入れるカフェ ジャスミンが  
 2017年9月より営業、構内の学食に次ぐ第二の学食になりました。  
 広尾駅4番出口(女子大案内口とは反対側)から出て、外苑西通  
 りの三井住友銀行・広尾ガーデンヒルズ下です。



写真下左はカフェ入口、写真下右の夏野菜カレー(スープ付)  
 1,000円をいただきました。雰囲気の良いお店でした。



大変貴重な体験をさせていただきました。今後も女子大学の  
 オープンキャンパスには参加する予定です。

次回は 東京の学食めぐり-26 です。

平野 寅次郎 拝